

各高層気象観測官署並に広島, 和歌山地方気象台より特に資料を受けた, ここで厚くお祈り申上げる。

文献

- 1) 中野東吾, 宮村親美, 内山文夫, 1961: 集中性豪雨のワークシート, 気象庁研究時報 Vol. 13, No. 8, p. 625~639
- 2) 水姓勝敏, 1966: 大阪管区気象台降予報に関する調査報告, 気象庁技術報告 No. 50 p. 58~105
- 3) 竹永一雄, 矢花知一, 1959: 諫早大雨の局地解析と予報, 気象庁研究時報 Vol. 11, No. 10 p. 839~858
- 4) 松本誠一, 藤田敏夫, 浅井富雄, 1961: 36, 6豪雨の定性的定量的解析, (下層ジェット)の構造とその役割に関する解析) 天気, Vol. 9, No. 7 p. 213~221
- 5) 島田守家, 1966: 梅雨前線豪雨の構造と降雨の解析, 気象庁研究時報 Vol. 18, No. 3, p. 171~239
- 6) 福田喜代志, 1967: 豪雨雪機構の相違に関する解析的例題, 天気, Vol. 14, No. 11 p. 423~428
- 7) 竹内衛夫, 1961: 36, 6豪雨の定性的, 定量的解析 (上層の寒冷渦と豪雨及びサイクロゲネシスについての一例), 天気, Vol. 9, No. 7, p. 222~232
- 8) 荒川秀俊, 1966: 諫早豪雨に際して現われたメソ低気圧, 天気, Vol. 13, No. 5, p. 175~177
- 9) 宮沢清治, 1967: 北陸地方の集中豪雨雪における中規模のうず性じょう乱について, 気象集誌 Vol. 45, No. 2, p. 166~176

通信欄

≡ 大会の講演申込締切期日について ≡

昭和43年度気象学会春季大会の告示や講演申込用紙が掲載綴込まれている天気15巻1号が, 私の手もとに届いたのは2月25日である。講演申込締切期日が3月5日であるから, 10日足らずの日数しかない。郵送に要する日数を考えると, 出張などで僅か数日間不在であったとしても, 講演申込に間に合わなくなってしまう。

このように会誌の配布から講演申込締切までに時間の余裕がないのは, 天気の発行が遅いか, それとも申込締切期日が早すぎるのか。予稿の締切期日が4月20日であるところから考えると, 申込締切期日はもう少し遅くてもよいようにも思うが, いずれにしても時間の余裕を持たせるよう次回から改善してほしい。(東京 Q)

(お答え)

印刷所の都合で天気の発行が予想外に遅れ, 御迷惑をかけた。天気の印刷は前号から次第に遅れを取

し, 発行が軌道に乗ってきていますが, 今後も天気の発行が止むを得ない事情で遅れることが事前に予想される場合には, 一号前の誌上に大会告示を掲載するなど適切な処置をとりたいと考えております。

なお, 予稿の締切期日を考えて講演申込締切期日ももう少し遅らせて欲しいという御希望には, 残念ながらそえません。というのは講演申込締切期日は, 大会のプログラムを掲載した天気を大会前に発行し, 会員はそれによって出張の手续や宿舎の申込などの手配をするという時間的制約によって決まることで締切期日を延ばせばそれ以上に天気の発行が遅れるからです。他方, 予稿集の印刷は印刷方法も異なるので, 天気の発行とは直接の関係はありません。

われわれは, 今後ともできるだけ会員の便宜を考えて運営をしてゆきたいと考えておりますが, 会員の皆様にもこのような事情を御理解のうえ, 御協力をお願い致します。

(講演企画委員会・天気編集委員会)

月例会の申し込みについて

本年度に気象学会の月例会の開催を希望する研究グループは下記のとおり講演企画委員会にご連絡下さい。研究グループはこれまで月例会を行ってきた既存のグループ以外の新しいグループでも結構です。

なお, 天気誌上で研究発表の募集を要する場合は3か月前の10日(10月30日に月例会を開く場合には7月10日)までに, 主題・会期・会場・申込先を明記して講演企画委員会に提出して下さい。なお, プログラムは月例会の前月の10日までに必ず講演企画委員会へ提出して下さい。以上の手続を怠った場合には, 天気での告示はできません

記

1. 連絡先: 東京都中野区南台1-15-1
東京大学海洋研究所 小倉 義光
 2. 締切期日: 5月10日
 3. 連絡事項: 文書に下記事項を明記のこと。
 - ・研究グループの名称
 - ・責任者名と連絡先(電話番号)
 - ・月例会の計画の概要: 開催予定時期, 開催地, 内容(研究発表会・シンポジウム・総合報告会等の別)
- (講演企画委員会)